

ケヤキ並木と建築、 新旧の融合が演出するシーケンス

表参道は、1990年代の経済停滞期を経て、2000年頃より海外有名ブランド店舗の相次ぐ出店を経験した。場所のブランドイメージを求めて表参道に進出し、現在では、ブランド店舗が右図のように多数出店するに至った。そこで、こうしたブランド店舗が表参道の現景観を構成する主要素と見なし、本稿ではこれらに注目して表参道の景観分析を行う。

まず、表参道の景観は、遠中近の三つに分類できる。

- ・直線的な通りに沿うヴィスタ（遠景）
- ・通りを挟んで反対からの眺め（中景）
- ・建物沿道の歩道から見る眺め（近景）

直線的な通りに沿うヴィスタとしての遠景は、直線的な広幅員の軸とケヤキ並木の連続から構成される。これらの要素は時代を経ても変る事のない景観をつくる。一方、反対側歩道から眺める中景は、建築の前面とそれを覆うケヤキによ

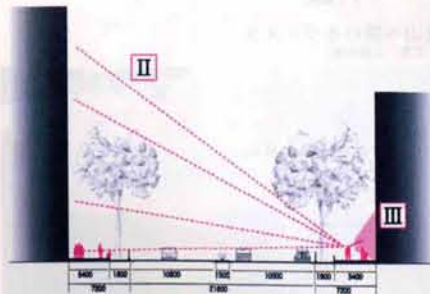


図1 表参道断面図

<表参道地区地区計画(2002年制定)>

- 用途の制限(建築できないもの)
- ・パチンコ屋、麻雀屋、ゲーム場等、工場、営業倉庫
- ・建物1階で表参道に面する部分の主な用途が店舗、飲食店、展示等の商業施設以外
- 高さの制限
- ・高さの最高限度は30m(地上8階)以下とする
- 形態または意匠の制限
- ・形態、意匠、色彩は、都市景観に十分配慮する
- ・表参道に面する1階部分は、ショーウィンドウなどディスプレイに配慮したものとす
- ・屋上広告の禁止 (<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>)

※ 図1~10筆者作成(図3を除く)



図2 表参道店舗配置図

遠藤 新/えんどうあらた
略歴は前掲
作業協力
大谷剛弘/おおたにたかひろ/東京大学修士課程1年

<表参道3つの景観分類>

I 街路沿いの遠景(ヴィスタ)
明治神宮からの直線的な広幅員街路、そしてケヤキ並木は街の変わらない景観である。



II 反対側歩道上からの中景
表参道の広幅員の街路断面構成は、正面から建物を広く見る視点を實現した。



III 歩道上での近景
広い歩道上での眺めは、ケヤキと建物に囲まれた回廊的景観となっている。



- ブランド店舗ビル一覧
- 1 ONE表参道 (2003)
 - 2 ANNIVERSAIRE表参道 (2003)
 - 3 UNITED COLORS OF BENETTON (2000)
 - 4 神宮前4丁目プロジェクト (2006予定)
 - 5 GAP (1996)
 - 6 エスキス表参道 (2001)
 - 7 ディオール表参道ビル (2003)
 - 8 日本看護協会 (2004)
 - 9 ルイ・ヴィトン表参道ビル (2002)
 - 10 MAX&Co.ビル (2001)
 - 11 EMPORI ARMANI表参道ビル (2001)
 - 12 トゥース表参道 (2005予定)
 - 13 ハナエモリビル (1978)

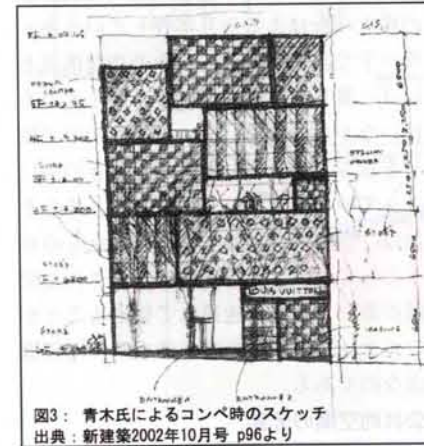


図3: 青木氏によるコンペ時のスケッチ
出典: 新建築2002年10月号 p96より

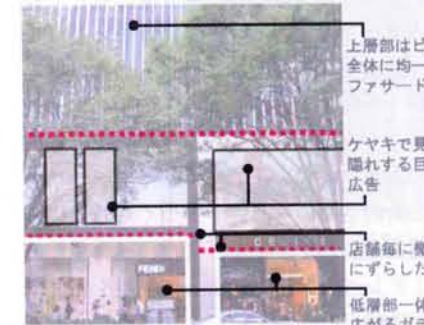


図6: II-1. ONE表参道中景

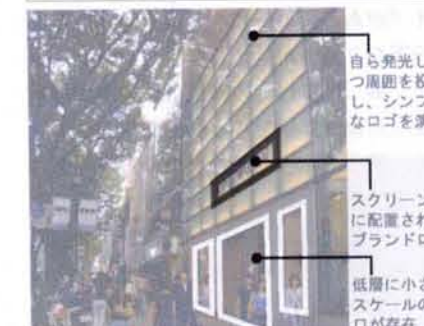


図9: III-11. EMPORI ARMANIビル近景

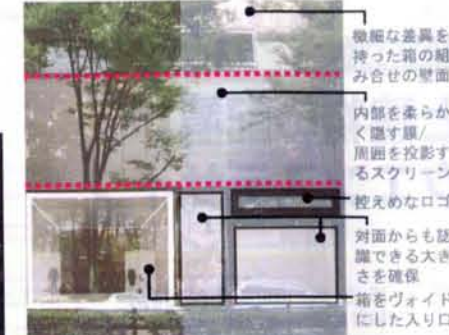


図4: II-9. ルイ・ヴィトン表参道ビル中景

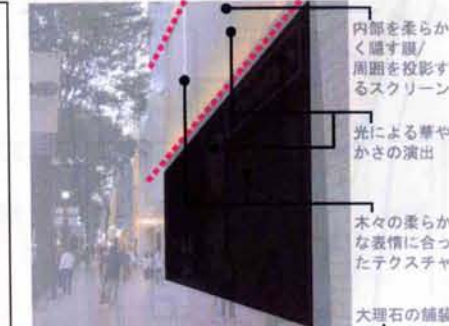


図5: III-9. ルイ・ヴィトン表参道ビル近景

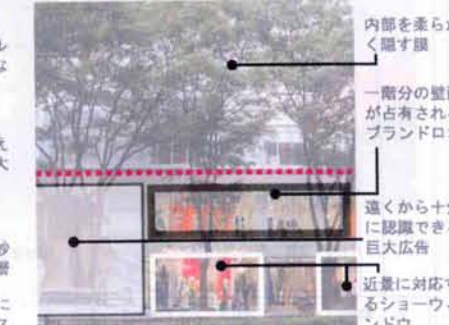


図7: II-3. BENETTONビル中景

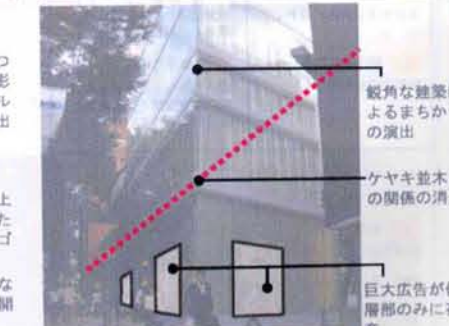


図10: III-7. Diorビル近景

って構成されている。そして歩道上から見る近景では広い歩道空間とケヤキ並木および建築の街並みによって構成される。このように、中・近景では、「ケヤキ」という不変の要素に加えて、変わりゆく「建築」が景観の中に顕在化してくるのである。

ブランド店舗の一例として、ルイ・ヴィトン表参道を見ると、ケヤキの下から上への葉の密度に対応して積み上げた箱を模したデザインにより内部空間を3層に分けて、ファサードとケヤキとの関係を考えている(図4)。ファサードのテクスチャもケヤキ並木と一体となるようにデザインされている(図5)。このようにケヤキを意識したデザインの手法は、以下の図6~10における分析のように、他の建築のファサードにおいても見てとれる。

表参道の景観は、時代に合わせて変わってゆく建築が、ケヤキなどの不変な要素をデザインに取り込まれてきた、新旧の融合したシーケンスなのである。

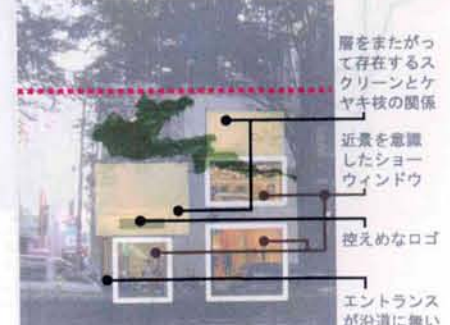


図8: II-10. Max. Co店舗ビル中景